詳しい情報はWEBで！！「遠賀川河川事務所」のHP版の「流域だより」には、より詳細な情報と、たくさんの写真も掲載されています。
※検索画面において、遠賀川流域だより　ダウンロード　で検索してください。

遠賀川流域　団体紹介

穂波川を愛する会

子どもの頃に見た、あの川をもう一度見たい。

今回ご紹介する「穂波川を愛する会」のみなさんが目指しているもの。それは、「子どもの頃、夏休みを待ち焦がれて近くの川で泳いだ」遠い昔の記憶。会のみなさんの心の中にある“原風景”を取り戻す事です。

あれから、かなりの月日は経ちましたが、「穂波川をこよなく愛する心」は未だ衰えていません。

一人で火箸を持ち、穂波川河川敷のゴミを拾い始めたのが今から9年前。現在では賛同してくれる仲間も15人に増え、穂波川の水質検査や清掃活動を続けています。

今では、小学校の環境学習も受け持っています。

会では、小学校の環境学習の支援も行っています。

特に、毎年3月頃開催する“サケの稚魚放流会”は大変好評で、「遠賀川サケの会」から特別に提供されるサケの稚魚を、「命の大切さと、その命を守る大切な川を守ってもらいたい」という思いを伝えながら、子供たちと共に川に放します。

昨年、飯塚市立楽市小学校で放流した模様

洗剤を使わずに汚れを落とすアイテムとは？

最後に、会では“アクリルたわし”を普及させる取り組みも行っています。

アクリルたわしとは、洗剤を使わずに汚れを落とす道具で、食器洗いや、お風呂掃除などの水回りはもちろん、お部屋の掃除にも使え、たいていの汚れは落とすことができると言われています。

アクリルたわしは、会のみなさんの手作りです。使った方からは、「大変使いやすい」「水だけでこんなに汚れがおるなんてビックリ」と好評で、少しずつですが普及の輪は広がっています。

← カラフルな手作り“アクリルたわし”。家庭排水の救世主となるか！？

I LOVE　遠賀川　流域デポジット法制化を求める事務局

拾っても、拾っても、減らないゴミ。

遠賀川の下流域である芦屋町は、遠賀川流域から出た全てのゴミが流れつく最終地点です。そこで気付く事は、ゴミの多さ、特に、ペットボトルや瓶、缶類など、人々が“ポイ捨て“したと思われるゴミの多さです。この地でボランティア活動を続ける有志一同は、「ゴミを拾っても、拾っても、キリがない。ゴミそのものを無くす（少なくする）事が出来ないだろうか」といつも頭を悩ましていました。そこで、今回ご紹介する団体では、ゴミを減らす事が出来る方法（秘策）を考え、実現に向け活動を続けています。

← 芦屋海岸に漂着しているゴミ　ゴミ　ゴミ・・・

ペットボトルや、瓶、缶に、“お金を上乗せ”ってどういう事？

1998年に発足した「I LOVE 遠賀川 流域デポジット法制化を求める事務局」が提案したのは、“デポジット（預かり金）制度”です。デポジットの代表例はビール瓶です。ビールの代金にはあらかじめお金が“上乗せ”されており、飲んだ後、瓶を販売店に返却すると、お金が戻ってきます。この“上乗せ“されたお金の事を、預かり金（デポジット）と呼びます。この制度をペットボトルや、缶にまで広げ、”ポイ捨て”を減らそうというのが会の考えです。

ポイ捨てをなくす特効薬になるか！？

会では、定期的に環境関連の講習会も実施しており、2月20日に開催された「ゴミ問題と資源循環型社会を考える講演会＆生ごみ処理講習会」で第15回目を迎えました。

今後は、「容器包装リサイクル法」の見直しが予定されている2013年を目処に、デポジットの法制化を目指し、ポイ捨ての減少、ゴミの縮減を目指しています。

遠賀川流域活動報告

◆嘉麻市・福智町◆　竹で川はきれいになるのか？　1月19日（水）

16号（12月号）で“水質改善に役立つと言われている竹炭”の作成についてご紹介しましたが、今回は、完成した竹炭をいよいよ川（水路）に設置する模様をお届けします。

今回お手伝いして頂いたのは、竹炭の作成にも協力していただいた福岡県立嘉穂総合高等学校嘉麻市立大隈城山校の皆さんです。

作業は、寒風吹きすさぶ 中行われ、嘉麻市大隈町の水路２カ所に設置されました。

生徒たちは、水路に足を入れると、「わ！ヌルヌルしてすべる！」「水が汚い！」等々大騒ぎしながら、普段足を踏み入れたことがない“水路の水を感じながら”作業は進みました。今回設置した水路は“おもに生活排水だけが流れる水路”と、“生活排水に加え、農業用水も流れ込む水路”という条件の異なる２箇所。生徒たちはこの２箇所の水を汲んで水を比較した結果、おもに生活排水だけの水路の水の汚さに一同ビックリしていました。

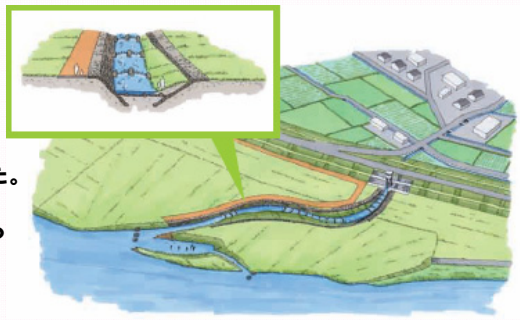
こんなに水質の悪化している水路に、この竹炭はどれ程の効果があるのでしょうか。生徒全員、結果が出る日を楽しみに設置作業は無事に終了しました。

今後は、この取り組みで、どの程度水が浄化されたのか詳しく検証する作業に入ります。定期的な水質調査や、設置状況などを観測し、効果を調べます。調査結果はこの「流域だより」でお伝えする予定にしています。

詳しい記事を読む

◆直方市◆　生物の棲みやすい川づくりを考える会　2月11日（金・祝）

遠賀川では、遠賀川の河川敷を、より多くの生物が棲めるような環境にすることを目指す取り組み、「生物の棲みやすい川づくりを考える会」が開催されています。平成２１年７月から始まったこの会でまず検討したのが、東勘六橋上流にある「下境第二排水樋管の水路」の改修でした。多くの現地視察を通して、現在の環境を把握し、水質調査や植生調査を重ね、生物が棲みやすい環境と、人々が安らげる空間の両立を目指し、検討が進められました。



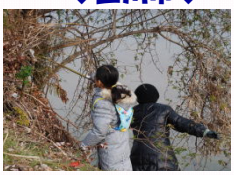
★これまでの検討で、今回の設計に反映された点は４点ありました。

① 水路の勾配をゆるやかにし、魚がのぼりやすくしました。
② 水路の流れに変化を持たせ、生物が住みやすい環境にしました。
③ 水路を蛇行させ、長さを長くすることにより、水質の浄化機能を高めました。
④ 環境学習の場として利用できるよう水路に近づけるようにしました。

これらの変更点が、はたして本当に生物の棲みやすさにつながったのでしょうか？
完成した後も注意深く見守り、観察する事で、その答えが分かります。
完成後も地域に愛される場であって欲しいものです。

詳しい記事を読む

◆田川市◆　彦山川の河川清掃を行いました　2月5日（土）



夏期の出水によって、木に引っかかったゴミは、川の流れが少なくなる冬の時期に清掃されます。ここ彦山川でも、「田川ふるさと川づくり交流会」が不定期に実施している清掃活動の中で清掃されます。

地元 下伊田地区の皆さんと、田川市の職員も加わり、予定していたエリアを約１時間かけて作業しゴミ袋３０袋分も拾いあげました。

しかし、清掃作業をしている間にも、心ない人がポイ捨てをし、参加者はやるせない気持ちになったと同時に、地域のゴミ問題の深刻さを改めて考えさせられました。

また、清掃活動後には河川敷に作った花壇の手入れや、花壇周辺に「ゴミの不法投棄禁止」を訴える看板を設置し、今回の作業は終了しました。

← この人数で、このゴミの量・・・

河川敷の花壇は、ボランティアで管理されています→

詳しい記事を読む

◆香春町◆　平安の世に思いを馳せながら“学べるゴミ拾い!?”　2月19日（土）

「万葉集（7～8世紀）に縁のある土地（香春町：鏡山大神社～鏡ケ池）を巡り、散策しながら、ゴミ拾いをする」取り組みが「金辺川を楽しむ会」の主催で開催されました。

香春町は古代から豊かな自然に恵まれ、奈良・平安時代には、都から太宰府につながる交通の要所となったことから、万葉集に多くの歌が詠まれたと言われています。

参加者の皆さんは、ゴミ袋を片手に、歴史的な史跡を巡り、郷土の歴史を学びながら清掃作業（ゴミ拾い）を行いました。交通量の多い大通り沿いではゴミが多かったのですが、川べりや、史跡周辺にはゴミが少なかった様子でした。

今から1,500年以上も昔に万葉集に歌われた“ふるさとの地”を巡った今回のイベント。こんな身近に史跡があったことや、万葉集にふるさとの地が歌われ、歌碑まであることなど、今回初めて知った人も多く、参加した皆さんは興味津々で楽しく参加されていました。

平安の世に思いを馳せながら行われた“学べるゴミ拾い”は大成功に終わりました。

詳しい記事を読む

遠賀川流域活動報告

◆北九州市◆　ほたるを通して命の大切さ、環境の大切さを伝える。 2月26日(土)

第12回「香月黒川ほたる教室」が、北九州市八幡西区にある木屋瀬宿記念館で開催されました。主催したのは、黒川をほたるの棲める環境に蘇らせ、今も保全活動を続ける「香月・黒川ほたるを守る会」の皆さんです。この教室は、小学生が1年がかりでほたるの一生や、ほたるの棲みやすい環境づくりを学び、生き物にとってもっともよい環境とは何かを考え、その成果（答え）を発表する場です。

発表するのは、黒川・笹尾川流域の6つの小学校（木屋瀬小学校・楠橋小学校・池田小学校・香月小学校・星ケ丘小学校・千代小学校）の生徒達です。発表会では、身近な命（ほたる）を通しての「生命の尊さ」や、身近な川を通しての「環境問題」などの発表が多く、身近な自然が子供に与える影響の大きさを改めて感じ、子供たちの為にも自然を守る活動は続けなければならないと感じました。

今回の発表会で特に印象的だったのは、ある児童が「この様な取り組みに参加していなかったら、ほたる祭りに行っても、ただきれいだね、で終わっていたと思う。ほたるを育て、ほたるの育つ環境を良くすることの大切さを教えていただいた地域の皆さんに感謝します」と立派に発表された事です。長くこの会を見てきましたが、環境をとおして、“人間教育”も育まれていると感じました。

詳しい記事を読む

◆流域全体◆　川をきれいにしたい！～いけいけチャレンジを開催しました～ 3月5日(土)

遠賀川流域の次世代を担う小・中学生を中心に、河川に関する環境学習や活動について発表する「第７回いけいけチャレンジ！遠賀川　発表会」が遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館：直方市）で開催されました。

第７回目となる今年は、直方市や飯塚市、田川市、嘉麻市、岡垣町にある６つの小学校と２つの中学校の計８校の生徒達が、１～２年間取り組んできた水質調査や生きもの調査、ごみのリサイクル活動などについて発表されました。

直方北小４年生は、学校近くの川を訪れて水質や生き物を調査し、「生活排水が川を汚す原因。手を洗うときの石鹸の量を減らしたり、食べカスを流したりしないように気を付けたい」などと述べ、「川岸にペットボトルや空き缶など資源になるごみが大量に落ちていた」ことを報告し、自分たちにできるごみの減量化の取り組みとして、「給食で使う年間５万４千個の牛乳パックをリサイクルするよう学校に提言した」ことなどの発表がありました。他に、嘉麻市の宮野小のグループでは、「川で捕まえた魚を１カ月育てた観察記録」を映像を交えて説明し、「調査した川に絶滅危惧種（アカザ）がいることが分かった。川をきれいにしたい」など、多くの報告がありました。

◆遠賀町◆　遠賀川の支流　西川でサケの稚魚が旅たちました　2月27日(日)

遠賀川下流に位置する支流 西川の河川敷において、サケの稚魚の放流会が開催されました。 毎年、「遠賀町青少年育成町民会議」の主催で開催されるこのイベントは、今年でなんと１６回目。今では遠賀町に春を告げる恒例行事として定着しました。

今回用意された稚魚は、「遠賀町青少年育成町民会議」が卵からふ化させた後に、学校や各種団体、個人など約６０の団体が引き取り、約３カ月をかけて稚魚に育てます。そして、放流する当日に各自で育てた稚魚を会場に持ってきます。

放流会当日の開会式前には、これも恒例となっている河川敷の清掃作業が参加者全員で行なわれました。これは、「サケを気持よく放流する為の儀式」だそうです。そして、いよいよ稚魚の放流です。今年集まったサケの稚魚は約6,000匹。この日集まった地元の方々約３００人によって慎重に西川に放たれました。

サケは放流後、日本海を北上し、アラスカ沖まで到達、その後再び４年の歳月を経て、産卵のために“生まれた川”に戻ってきます。

参加した皆さんは、サケとの４年後の再開を願って、勢い良く泳ぐサケの稚魚をいつまでも見送っていました。

詳しい記事を読む

◆飯塚市◆　こちらは飯塚市建花寺川での放流の模様です　3月8日(火)

所変わって、遠賀川上流の飯塚市でもサケの稚魚の放流会が開催されました。「飯塚市立二瀬中学校」の１年生１４７人が、学校の前を流れる遠賀川支流の建花寺川にサケの稚魚を放流しました。建花寺川でのサケの放流は今回が初めてで、建花寺川を中心に活動している市民団体「龍王・山・里・川の会」が企画し、嘉麻市でサケのふ化や放流活動に取り組む「遠賀川源流サケの会」の協力で実現しました。放流会の１週間前には、現地の草刈りとゴミ拾い（ゴミ袋１９袋分回収）も実施され、清流を好むサケの旅立ちの準備を整えました。

当日放流された稚魚は全長３～４センチで、生徒たちは大きな衝撃に弱い稚魚を気遣いながら、バケツからそっと川に流し、元気に泳ぎ出す姿を見守りました。

「龍王・山・里・川の会」は、これまでも同校を訪れ、川が汚れるメカニズムや水質調査方法などの授業を行ってきました。今回の放流会は“川をきれいにする心を育てる”授業の一環。会の坂本会長は「サケが帰ってくるのは４年後。それまで川のきれいさを保ちましょう」と生徒たちに語りかけていました。

詳しい記事を読む

九州初の「第１期 重点的撤去区域」を公示しました。

遠賀川河口域には多数の船舶が不法に係留（Ｈ22：775隻）され、治水上の問題や周辺地域の環境悪化（ゴミ・騒音）が深刻化しています。そのため、遠賀川河川事務所では『遠賀川河口域利用対策協議会』を設置し、不法係留船対策に係る計画を策定しました。

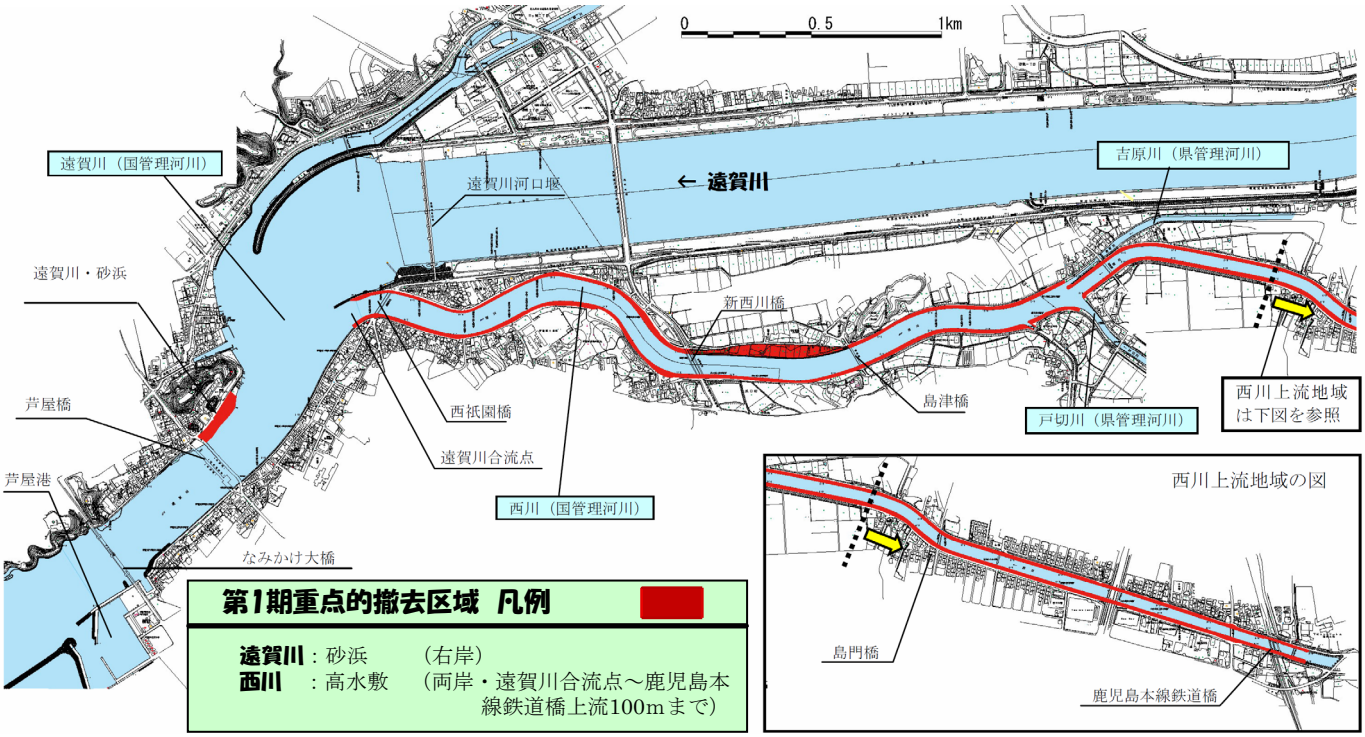
そこで、この計画に基づき、**平成23年2月28日**に九州地方整備局長・福岡県知事の連名で第１期重点的撤去区域の設定に関する**“公示”**を実施しました。

設定された重点的撤去区域においては、３ヶ月の周知期間を経て強制撤去を含む法的手段を用いて不法係留船対策を実施していきます。なお、重点的撤去区域は順次拡張していきます。詳細は事務所ホームページをご覧ください。

西川における不法係留船の状況

遠賀川における不法係留船の状況

昨年実施された撤去状況



流域内のイベント等の予定

・ 4月 2日(月)～10日(日)	直方チューリップフェアー2011	直方市
・ 5月 3日(火)	八反田川のぼり大会	嘉麻市碓井
・ 5月28日(土) 29日(日)	香月 黒川ほたる祭り	北九州市

遠賀川流域だより 皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

発行 国土交通省遠賀川河川事務所
住所 直方市溝堀１丁目１－１
電話 （０９４９）２２－１８３０
ＦＡＸ（０９４９）２２－２８５９
ＨＰアドレス http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/

協力 ＮＰＯ法人遠賀川流域住民の会
電話 ０９４８-２２-３５３５
http://www.ongagawa.jp/